

令和6年5月20日

富山県教育委員会教育長 殿

富山県立高岡南高等学校
校長 出口 信夫

令和6年度学校経営計画を別紙（様式2・3）とともに提出します。

令和6年度 学校経営計画

1 学校教育目標

校訓「心を蓄え以て道を窮む」のもと、真理を探究する態度を養い、高潔な品性を育て、健康で明朗な人間形成を目指す。

2 学校の特徴

本校生徒には、将来、各分野でグローバルな視野を持ったリーダーとして活躍することが期待されている。本校のスクールポリシー（アドミッションポリシー）には、「将来はリーダーとして社会に貢献したい志のある生徒」としている。その期待に応えられる資質の育成のため、教育方針としては、①学力の向上、②人格の陶冶 ③心身の鍛練 ④校風の発揚 を掲げて教育活動を実践している。この教育活動のなか、生徒は自ら進んで勉学に励むとともに、学校行事や部活動、ボランティア活動にも自主的意欲的に取り組んでおり、学校全体は活気がある。

総合的な探究の時間（「SOUTH 探究プロジェクト」と称している）では、地域や大学と連携した探究活動を行い、そして、グローバルな課題を取り組み、情報発信力や課題解決力の育成することを目指している。1年次には「企業訪問」、「高岡市との連携」など地域探究活動を実施、2年次には「富山大学との連携」によって、自らが興味のある学問分野の課題を設定して、班ごとに探究的な活動を行う。また、1、2年次を通して、イノベータープログラムとしてアントレプレナーシップ教育を実施し、自己の発想や工夫を、積極的に社会への貢献や理想とする社会の実現に生かそうとする意欲を育てる。この総合的な探究の時間の全体を通して、発表や相互評価を行い、将来に必要な思考や表現力、判断力、協働する力を育て、そして挑戦心やグローバルな視野を持たせ、生徒の主体性の伸長を図る。

また、人文科学コースでは、「コミュニケーション能力や専門性の高い人材を育成する」ことを目標に、体験学習を中心に専門的で特色のある学習や活動を取り入れ、国内だけでなく世界において、リーダーとして活躍できる総合的な能力を身に付けさせる。

3 学校の現状と課題

生徒がグローバルな視点で、各分野のリーダーとして活躍できるような資質を身に付けるため、学校行事のみならず、学習活動全体においても、生徒が主体的に活動する場面を設定し、生徒自らが企画・運営する機会が必要である。そのために、総合的探究の時間を中心に従来から実施していたキャリア教育を発展させ、より探究的な活動を充実させることが重要となっている。それが学習や、校外研修などの生徒の意欲を喚起することに繋がると考えられる。また、人文科学コースの特色化をさらに図るとともに、本校の生徒全員が、自己表現力を身につけ、世の中の諸課題に対応していくことができる課題解決能力が身につくよう教育内容を充実させていきたい。

そして、これらの取り組みを広く外部に発信することで生徒の自信にも繋がり、外部の評価を受けることにより、生徒だけでなく教員の資質向上にも繋がると考えられる。